

テーマ

**未来を切り拓く子**

目標

**地域に誇りを持ち地域を大切にする子  
子どもが活きる地域イベント**

## 今年度の取組紹介

飛鳥地区では、幼・小・中・地域の連携を軸に地域や家庭を大切にする心を育み、地域に誇りを持てる子供たちの育成をめざし活動しています。今、少子高齢化の問題等を抱える中、やはり地域行事の担い手として中学生の活躍は不可欠になってきています。そこで小中合同で行われるコミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）と会議を一体化し、学校・園の実情把握と課題を明確にした上で、各校・園のニーズに応じた支援を行える体制づくりをしました。本協議会が中心となる健全育成部と地域連携部の立場から従来の取組を見直し、中学生の活躍の場を広げました。

中学生が飛鳥地域で職場体験した経験を小学生と地域の方々とでポスターセッションし

意見交流ができました。地域防災活動のアスッペンピックにおいては、準備段階から中学生が、生徒会を中心にクラブ単位で参加し、イベントを盛り上げるだけでなく、防災活動における戦力として自覚を促すことができました。奈良市の教育フォーラムにおいては、中学校が防災拠点として今何ができるかをポスターセッションし地域防災とのコラボに向けた取組を進めることができました。

また第13回あすかフェスティバルも、地域からの出店も数多く、催し内容も多岐にわたり来場者も増えてきました。地元和太鼓団体や各校園のパフォーマンスもあり盛況でした。これらの活動をととして地域の一体感を感じ合えました。

## 飛鳥式CS協議会

地域教育協議会

小学校+中学校

学校運営協議会

コミュニティ・スクール(CS)

会議を一体化

(飛鳥CS協議会)

## 小中一貫学校運営協議会

小中一貫学校運営協議会  
飛鳥CS協議会

教育協議会の性格を持つ2つの部会

- 健全育成部(指導協議会)  
健全育成に関わる支援を行う
- 地域連携部(コーディネーター)  
学習支援と部活動支援の推進を行う  
その他、地域連携に関わる支援を行う

学校運営委員会の性格を持つもので2つの部会

- 学校運営部(自治会・校園長など)  
学校運営の基本方針を検討する
- 学校評価部(育友会・教頭など)  
学校評価について検討する



## 今年度のまとめ

今年度は、小中合同で行われるコミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）と会議を一体化し、学校・園の実情把握と課題を明確にした上で、各校・園のニーズに応じた支援を行える体制づくりをしました。更にコミュニティ・カレンダーやボランティア募集ビラを配布し、地域人材の発掘・確保に努めました。

## 来年度に向けて

新システムでの活動になる中、地域教育協議会としての活動も深化させながら小中一貫学校運営協議会として年間5回の全体会を開催し、4部会はそれに応じてフレキシブルに活動していきます。地域防災と学校園の防災との一体化を目指し防災力を高めるとともにボランティア募集の強化にも努めていきたいと思っています。

テーマ

## 飛鳥大好きプロジェクト (ADP)

目標

地域と関わる学びの中から地域を大切に誇れる生徒を育てる

地域と学校が一体になり家庭の教育力を高め、社会で通用する力を育てる。

### 今年度の取組紹介

テーマである飛鳥大好きプロジェクトも学校や地域に定着してきました。地域行事への参加も積極的で、準備から後片付けまで誠意を持って取り組んでいるため地域からも期待され支える力となりつつあります。特に飛鳥フェスティバル（右上写真）での活躍は、頼もしさを感じることができました。

本年度も地域支援を頂きながら花壇整備や畑の野菜栽培に力をいれ、毎年恒例の収穫祭には、幼稚園の園児も招待できました。特に学力向上を目指した授業改革の取組は、外部講師を招聘し合同研修をするとともに小学校6年生を招いた合同授業や地域の方も含めたポスターセッションを実施することができました。また地域防災活動のアスッペンピックへも生徒会や部活単位で多数の参加があり、大いに貢献できただけでなく生徒会を中心に中学校が避難所になった事を想定し、今学校にあるもので何ができるかを考え、体育館のパーテーションづくりや、簡易ベットづくりを試行しました。今後は、より現実的な収容人員や運営に関しても取り組む予定です。



### 今年度のまとめ

地域の方から支援を「してもらう」から地域に「何ができる」を合い言葉に、諸行事に積極的に参加しただけでなく、準備や後片付けまで地域の方と協働できました。またほたる鑑賞会、夕べのコンサートや収穫祭も地域一体となる取組になってきました。またキャリア教育を軸とした小中一貫教育を推進するとともに「学び合い」やポスターセッション等の新しい手法を展開し、コミュニティスクールとしてのスタートを切ることができました。

### 来年度に向けて

一般的なコミュニティ・スクールとは、異なり小中一貫を狙った小中合同のコミュニティ・スクールであり、地域教育協議会とコラボした4部会を独自に設けて本格的にスタートします。大きな組織となっても4部会がフレキシブルに活動できるよう生徒も教員も新たな意識を持ち、地域との連携を深化させていきたいと思っています。また、防災教育については、生徒達から積極的な提案や活動が、始まっており、地域防災活動や各関係機関との新たな連携を見据え、よりリアルな防災力を高め合う努力をしていきます。

**テーマ 人との出会いを生かして、人から学ぶ飛鳥っ子****目標** 飛鳥校区に生まれ生活している子ども達が、地域や保護者の協力を得ながら、自分の街を再発見し、地域に誇りをもち、地域を大切にしていける契機とする。**今年度の取組紹介**

地域交流事業や世界遺産学習事業では、地域の方をゲストティーチャーとして迎えたり、子どもたちが地域の方と触れ合ったり交流したりする活動を積極的に取り入れました。このことから、児童は年間を通じて様々な方と出会うことができました。その結果、児童は、地域の方を身近に感じるとともに、コミュニケーション力の育成を図ることができました。

**世界遺産学習事業 4年**

本校では、地域にお住まいの方にボランティアとして毎週水曜日に来校いただき「お話の会」を開催してもらっています。読み聞かせや、紙芝居、かるたなど地域の方々との触れ合いは、読書好きの児童を増やすだけでなく、コミュニケーションの力を高める場となっています。児童の多くは「お話の会」をととても楽しみにしており、今後も継続して取組を進めていきたいと思っています。

**地域交流事業 お話の会 全学年****今年度のまとめ**

校区は、元興寺や春日大社など世界遺産に隣接しており、古都奈良の素晴らしい歴史を身近に感じられ、校区にお住まいの方々も飛鳥小学校に対して好意的で協力的です。本校はこれらの特質を生かし、本事業を活用し多くの方と出会う機会を積極的に設定しました。

例えば、上部に記載しているように、多くのゲストティーチャーを招聘した学習や地域の方主催の「お話の会」を実施することで、児童のコミュニケーション力の育成を図ることができるとともに、感動したり、共感したりすることで、自らの生き方を考えるようになりました。また、校区探検をはじめ校区に出掛ける経験を通して、地域に対する誇りを感じられるようになりました。

**来年度に向けて**

地域にお住まいの素晴らしい方々との出会いは、児童の生き方に直接働きかける取組となります。今後も本事業を効果的に活用し、児童が校区の素晴らしさに気づくことができるような取組を推進していきたいと思っています。また、今後は校区にお住まいの素晴らしい方々を発掘するとともに、ボランティアやゲストとして来校してもらえよう取組を進めていきます。

テーマ

## 生き生きと明るく元気でたくましいあすかっ子

目標

いろいろな人やものに親しみをもって、主体的に活動する子に

### 今年度の取組紹介

- あすかフェスティバルやシルバー交流会では多くの地域の方との出会いを喜び、楽しく参加できました。1000 人の聴衆の前で演技を披露したり、お年寄りと一緒に歌ったり昔遊びをしたりして触れ合う中で親しみや感謝の気持ちが育まれました。
- 綿菓子、お餅つき、ポン菓子など地域の方による屋台さながらのお店ができ、綿菓子は、子ども達が自分で作る体験をすることができました。保護者や未就園児も招き、地域ボランティアの方々に親しみをもってかかわる姿が見られました。
- 昨年の課題であった親子活動への参加負担の軽減のために、コーディネーターや民生児童委員の方々の託児ボランティアをしてもらうことで、保護者が在園児の様子をゆったりと見たり、存分にかかわれる時間となっています。
- 月 2 回の「お話の会」では、ボランティアの方々に手遊び、OHP、影絵等をしてもらい、様々なお話に出会っています。保護者も読み手に参加してもらったこととお話を通して、触れ合える大切な時間となりました。



### 今年度のまとめ

- 地域の方々との温かい触れ合いを通して、地域の方々を身近に感じ、地域の一員である喜びと誇り、感謝の気持ちをもち、住んでいる飛鳥が好きと言える子どもに育ってきています。
- 楽しく活動することにより、友達・親子・地域の方々それぞれとのコミュニケーションを図ることができ、保護者にとっては子どもと一緒に楽しもうというゆとりがうまれました。

### 来年度に向けて

- 次年度も継続しながら新たな目標に向け、事業を推進していきたいです。地域の教育力や協力を得ながら、ひと・こと・ものの出会いを多くし、様々な感動体験ができるよう、園教育の一層の充実を図っていきたいです。